

II 調査結果の詳細（アンケート調査からみた経営動向）

※ 数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、D I を算出すると±0.1 ポイントの範囲で差異が生じることがある。

1 経営者の景況感と来期の見通しについて

（1）現在の景況感

自社業界の景況について「好況である」とみる企業は4.4%、「不況である」とみる企業は49.0%で、景況感D I（「好況である」－「不況である」企業の割合）は▲44.7となった。前期（▲40.8）から3.9ポイント減少し、2期連続悪化した。

〈業種別〉

製造業

「好況である」とみる企業は4.3%、「不況である」とみる企業は54.2%で、景況感D I は▲49.8となった。前期（▲46.9）から2.9ポイント減少し、2期連続悪化した。

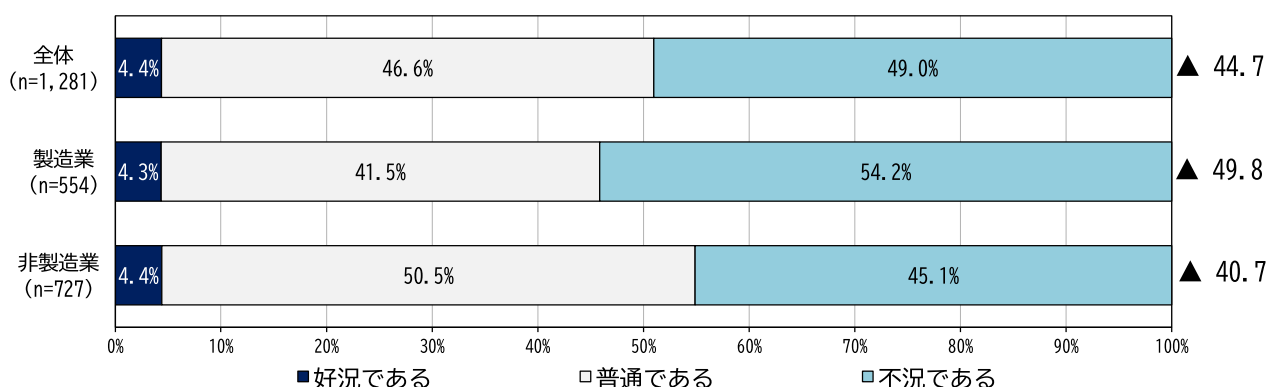
業種別にD I 値をみると、12業種中、「食料品製造」「鉄鋼業・非鉄金属」の2業種が前期から改善し、それ以外の10業種は前期から悪化した。特に、「化学工業」は前期比で22.2ポイント減少し、前年同期比でも4.4ポイント減少した。

非製造業

「好況である」とみる企業は4.4%、「不況である」とみる企業は45.1%で、景況感D I は▲40.7となった。前期（▲36.1）から4.6ポイント減少し、2期連続悪化した。

業種別にD I 値をみると、7業種中、「飲食店」「運輸業」の2業種が前期から改善し、それ以外の5業種は前期から悪化した。特に、「建設業」は前期比で16.5ポイント減少し、前年同期比でも3.4ポイント減少した。

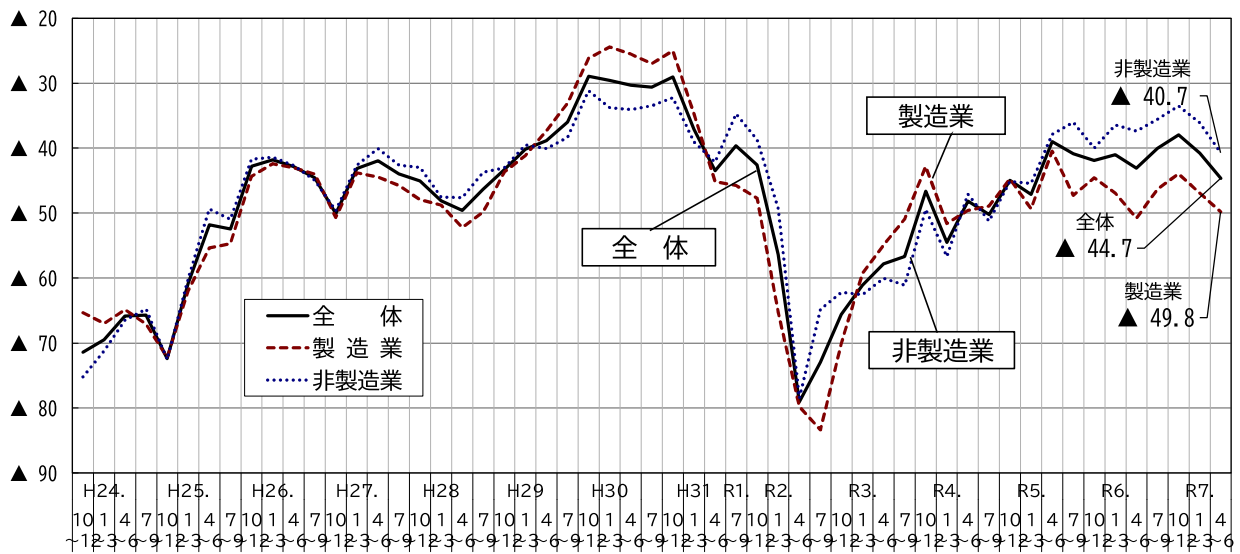
〔業種別の景況感D I〕



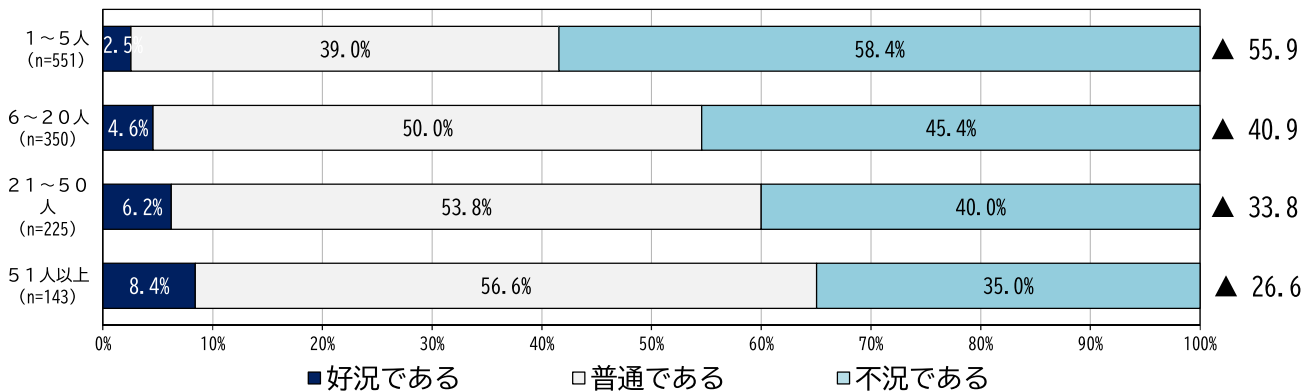
〔景況感D I の推移〕

	当期DI (R7.4-6)	前期比 (R7.1-3)	前年同期比 (R6.4-6)	来期見通しDI (R7.7-9の見通し)	前期比[前回調査] (R7.4-6の見通し)
全 体	▲44.7	▲3.9	▲1.6	▲24.7	▲7.3
製 造 業	▲49.8	▲2.9	+1.0	▲27.3	▲8.5
非製造業	▲40.7	▲4.6	▲3.3	▲22.7	▲6.4

〔景況感D I の推移〕



〔従業員規模別の景況感〕



（2）来期（令和7年7月～9月期）の見通し

先行きについては、「良い方向に向かう」とみる企業は5.5%（前期比▲2.2%）、
「悪い方向に向かう」とみる企業は30.2%（前期比+5.0%）だった。
先行きD Iは▲24.7（前期比▲7.3）と、2期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

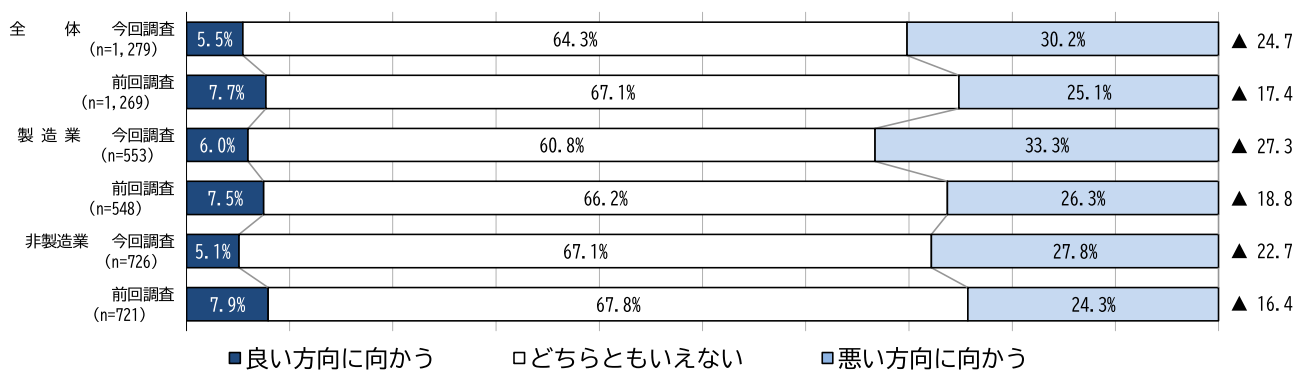
製造業

先行きD Iは▲27.3（前期比▲8.5）と、3期連続悪化した。

非製造業

先行きD Iは▲22.7（前期比▲6.4）と、2期ぶりに悪化した。

〔来期の景況感D I〕



〔景況感D I の推移（詳細）〕

景況感D I の推移

業 種	R6. 4～6月期	R6. 7～9月期	R6. 10～12月期	R7. 1～3月期	R7. 4～6月期 (当 期)	増 減		R7. 7～9月期 (見通し)
						前期比	前年 同期比	
全 体	▲ 43.1	▲ 40.0	▲ 38.0	▲ 40.8	▲ 44.7	▲ 3.9	▲ 1.6	▲ 24.7
製 造 業	▲ 50.8	▲ 46.3	▲ 43.9	▲ 46.9	▲ 49.8	▲ 2.9	1.0	▲ 27.3
食料品製造	▲ 42.0	▲ 37.5	▲ 20.5	▲ 45.2	▲ 34.1	11.1	7.9	▲ 34.1
繊維工業	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 51.9	▲ 54.5	▲ 57.6	▲ 3.0	2.4	▲ 42.4
家具・装備品	▲ 48.1	▲ 42.9	▲ 35.7	▲ 45.2	▲ 46.7	▲ 1.5	1.5	▲ 30.0
パルプ・紙・紙加工品	▲ 63.6	▲ 64.4	▲ 51.0	▲ 62.0	▲ 62.5	▲ 0.5	1.1	▲ 22.9
印刷業	▲ 75.0	▲ 64.1	▲ 46.3	▲ 68.9	▲ 69.2	▲ 0.3	5.8	▲ 35.9
化学工業	▲ 28.9	▲ 34.0	▲ 31.1	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 4.4	▲ 12.8
プラスチック製品	▲ 55.6	▲ 41.8	▲ 45.5	▲ 39.6	▲ 59.5	▲ 19.9	▲ 4.0	▲ 40.5
鉄鋼業・非鉄金属	▲ 53.2	▲ 60.0	▲ 68.4	▲ 60.8	▲ 46.3	14.5	6.9	▲ 40.7
金属製品	▲ 50.7	▲ 54.8	▲ 48.6	▲ 48.5	▲ 49.3	▲ 0.8	1.4	▲ 14.1
電気機械器具	▲ 50.0	▲ 31.4	▲ 50.0	▲ 39.1	▲ 48.1	▲ 9.0	1.9	▲ 27.8
輸送用機械器具	▲ 41.3	▲ 33.3	▲ 18.6	▲ 31.8	▲ 39.6	▲ 7.8	1.7	▲ 21.3
一般機械器具	▲ 44.1	▲ 35.1	▲ 54.2	▲ 46.4	▲ 53.8	▲ 7.4	▲ 9.8	▲ 17.3
非 製 造 業	▲ 37.4	▲ 35.5	▲ 33.5	▲ 36.1	▲ 40.7	▲ 4.6	▲ 3.3	▲ 22.7
建 設 業	▲ 36.1	▲ 34.2	▲ 27.3	▲ 22.9	▲ 39.5	▲ 16.5	▲ 3.4	▲ 14.2
総合工事業	▲ 37.0	▲ 34.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 42.9	▲ 24.7	▲ 5.8	▲ 22.4
職別工事業	▲ 41.2	▲ 44.2	▲ 35.4	▲ 42.6	▲ 57.7	▲ 15.1	▲ 16.5	▲ 19.2
設備工事業	▲ 30.2	▲ 22.9	▲ 10.6	▲ 4.3	▲ 15.2	▲ 10.9	15.0	0.0
卸売・小売業	▲ 48.9	▲ 43.7	▲ 44.5	▲ 51.4	▲ 52.6	▲ 1.2	▲ 3.7	▲ 33.1
(卸売業)	▲ 45.1	▲ 34.4	▲ 39.7	▲ 43.0	▲ 47.1	▲ 4.1	▲ 1.9	▲ 32.2
繊維・衣服等	▲ 45.0	▲ 42.1	▲ 60.0	▲ 53.3	▲ 50.0	3.3	▲ 5.0	▲ 52.9
飲食料品	▲ 48.3	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 34.6	▲ 34.8	▲ 0.2	13.5	▲ 30.4
建築材料、鉱物・金属材料等	▲ 50.0	▲ 43.3	▲ 44.0	▲ 48.3	▲ 50.0	▲ 1.7	0.0	▲ 32.1
機械器具	▲ 31.0	▲ 18.5	▲ 18.2	▲ 26.9	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 19.0	▲ 34.6
その他	▲ 52.2	▲ 41.7	▲ 47.8	▲ 61.1	▲ 50.0	11.1	2.2	▲ 16.7
小 売 業	▲ 52.5	▲ 52.6	▲ 48.9	▲ 58.4	▲ 57.5	0.9	▲ 5.0	▲ 33.8
(小売業)	▲ 61.8	▲ 69.2	▲ 55.3	▲ 75.7	▲ 75.0	0.7	▲ 13.2	▲ 46.9
飲食料品	▲ 52.8	▲ 50.0	▲ 55.6	▲ 60.6	▲ 50.0	10.6	2.8	▲ 32.3
機械器具	▲ 46.7	▲ 41.9	▲ 35.7	▲ 44.8	▲ 45.2	▲ 0.3	1.5	▲ 19.4
その他	▲ 48.8	▲ 46.2	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 59.0	▲ 9.0	▲ 10.2	▲ 35.9
飲 食 店	▲ 37.8	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 46.5	▲ 42.5	4.0	▲ 4.7	▲ 22.5
情報サービス業	▲ 9.4	▲ 14.5	▲ 15.3	▲ 8.3	▲ 16.0	▲ 7.7	▲ 6.6	▲ 10.0
運輸業	▲ 41.1	▲ 43.1	▲ 29.5	▲ 42.2	▲ 30.4	11.8	10.6	▲ 10.9
不動産業	▲ 32.7	▲ 37.7	▲ 20.5	▲ 26.8	▲ 39.5	▲ 12.7	▲ 6.9	▲ 23.3
サービス業	▲ 28.0	▲ 29.9	▲ 29.8	▲ 29.8	▲ 33.1	▲ 3.3	▲ 5.1	▲ 21.6
専門サービス業	▲ 23.9	▲ 23.9	▲ 19.5	▲ 16.7	▲ 23.8	▲ 7.1	0.1	▲ 16.7
洗濯・理美容・浴場業	▲ 34.2	▲ 35.9	▲ 45.2	▲ 51.3	▲ 47.2	4.1	▲ 13.0	▲ 38.9
その他生活関連・娯楽業	▲ 36.8	▲ 34.1	▲ 30.6	▲ 35.0	▲ 38.9	▲ 3.9	▲ 2.0	▲ 22.2
その他の事業サービス業	▲ 17.1	▲ 26.3	▲ 27.3	▲ 13.9	▲ 23.5	▲ 9.6	▲ 6.4	▲ 8.8

単位：D I

2 売上げについて

（1）当期（令和7年4月～6月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」と答えた企業は17.5%、「減少した」と答えた企業は37.0%で、売上げDI（「増加した」－「減少した」と答えた企業の割合）は▲19.5となった。前期（▲22.3）から2.8ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

〈業種別〉

製造業

売上げが「増加した」と答えた企業は18.6%、「減少した」と答えた企業は38.4%で、売上げDIは▲19.9となった。前期（▲24.5）から4.6ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「印刷業」「プラスチック製品」「電気機械器具」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の6業種が前期から悪化し、それ以外の6業種は前期から改善した。特に、「食料品製造」は前期比で53.1ポイント増加し、前年同期比でも14.3ポイント増加した。

非製造業

売上げが「増加した」と答えた企業は16.6%、「減少した」と答えた企業は35.9%で、売上げDIは▲19.2となった。前期（▲20.6）から1.4ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」「不動産業」の3業種が前期から悪化し、それ以外の4業種は前期から改善した。特に、「運輸業」は前期比で19.8ポイント増加し、前年同期比でも23.9ポイント増加した。

〔売上げ実績〕

	増加した	変わらない	減少した	DI	前期比	前年同期比
全 体	17.5%	45.6%	37.0%	▲19.5	+2.8	▲1.0
製 造 業	18.6%	43.0%	38.4%	▲19.9	+4.6	+3.5
非製造業	16.6%	47.5%	35.9%	▲19.2	+1.4	▲4.3

（2）来期（令和7年7月～9月期）の見通し

先行きについて、売上げが「増加する見通し」と答えた企業は13.5%、「減少する見通し」と答えた企業は30.5%であった。

当期の売上げDI（▲19.5）と比べて、来期DIは▲17.0（当期比+2.5）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の売上げDIは▲17.4（当期比+2.5）と改善する見通しである。

非製造業

来期の売上げDIは▲16.6（当期比+2.6）と改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とDIの推移は付表（P56）を御覧ください。

3 資金繰りについて

（1）当期（令和7年4～6月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」と答えた企業は7.9%、「悪くなった」と答えた企業は26.3%で、資金繰りDI（「良くなった」－「悪くなった」と答えた企業の割合）は▲18.4となった。前期（▲19.5）から1.0ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

〈業種別〉

製造業

資金繰りが「良くなった」と答えた企業は8.4%、「悪くなった」と答えた企業は27.6%で、資金繰りDIは▲19.2となった。前期（▲21.9）から2.8ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「印刷業」「プラスチック製品」「鉄鋼業・非鉄金属」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の6業種が前期から悪化し、それ以外の6業種は前期から改善した。特に、「食料品製造」は前期比で23.3ポイント増加し、前年同期比でも1.7ポイント増加した。

非製造業

資金繰りが「良くなった」と答えた企業は7.6%、「悪くなった」と答えた企業は25.4%で、資金繰りDIは▲17.8となった。前期（▲17.6）から0.3ポイント減少し、2期連続悪化した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「卸売・小売業」「飲食店」「サービス業」の3業種が前期から改善し、それ以外の4業種は前期から悪化した。特に、「不動産業」は前期比で8.8ポイント減少し、前年同期比でも4.0ポイント減少した。

〔資金繰り実績〕

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	前期比	前年同期比
全 体	7.9%	65.7%	26.3%	▲18.4	+1.0	+0.1
製 造 業	8.4%	64.1%	27.6%	▲19.2	+2.8	+4.3
非製造業	7.6%	67.0%	25.4%	▲17.8	▲0.3	▲3.1

（2）来期（令和7年7～9月期）の見通し

先行きについて、資金繰りが「良くなる見通し」と答えた企業は4.9%、「悪くなる見通し」と答えた企業は26.3%であった。当期の資金繰りDI（▲18.4）と比べて、来期DIは▲21.4（当期比▲3.0）と悪化する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の資金繰りDIは▲21.3（当期比▲2.2）と悪化する見通しである。

非製造業

来期の資金繰りDIは▲21.5（当期比▲3.7）と悪化する見通しである。

（注）全業種の集計結果とDIの推移は付表（P57）を御覧ください。

4 採算について

（１）当期（令和7年4月～6月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」と答えた企業は9.4%、「悪くなった」と答えた企業は34.9%で、採算DI（「良くなった」－「悪くなった」と答えた企業の割合）は▲25.6となった。前期（▲26.6）から1.0ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

〈業種別〉

製造業

採算が「良くなった」と答えた企業は10.1%、「悪くなった」と答えた企業は34.8%で、採算DIは▲24.7となった。前期（▲26.9）から2.1ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「印刷業」「電気機械器具」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の5業種が前期から悪化し、それ以外の7業種は前期から改善した。特に、「食料品製造」は前期比で37.4ポイント増加し、前年同期比でも15.2ポイント増加した。

非製造業

採算が「良くなった」と答えた企業は8.8%、「悪くなった」と答えた企業は35.0%で、採算DIは▲26.2となった。前期（▲26.3）から0.1ポイント増加し、3期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」「不動産業」の3業種が前期から悪化し、それ以外の4業種が改善した。特に、「飲食店」は前期比25.5ポイント増加し、前年同期比でも3.9ポイント増加した。

〔採算実績〕

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	前期比	前年同期比
全 体	9.4%	55.7%	34.9%	▲25.6	+1.0	+1.1
製 造 業	10.1%	55.1%	34.8%	▲24.7	+2.1	+5.7
非製造業	8.8%	56.2%	35.0%	▲26.2	+0.1	▲2.4

（２）来期（令和7年7月～9月期）の見通し

先行きについて、採算が「良くなる見通し」と答えた企業は7.6%、「悪くなる見通し」と答えた企業は30.1%であった。

当期の採算DI（▲25.6）と比べて、来期DIは▲22.5（当期比+3.1）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の採算DIは▲23.5（当期比+1.2）と改善する見通しである。

非製造業

来期の採算DIは▲21.7（当期比+4.5）と改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とDIの推移は付表(P58)を御覧ください。

5 設備投資について

（１）当期（令和7年4～6月期）の状況

当期に「設備投資を実施した」と答えた企業は23.7%で、前期（21.6%）から2.1ポイント増加し、2期ぶりに増加した。

内容をみると、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が38.4%で最も高く、「車両・運搬具」が30.1%、「情報化機器」が24.0%と続いている。

目的では、「更新・維持・補修」が73.5%で最も高く、「生産・販売能力の拡大」が25.8%、「合理化・省力化」が19.7%と続いている。

〈業種別〉

製造業

「設備投資を実施した」と答えた企業は27.8%で、前期（24.1%）から3.7ポイント増加し、3期ぶりに増加した。また、前年同期（23.0%）から4.8ポイント増加した。

業種別でみると、12業種中、「印刷業」「一般機械器具」の2業種が前期から悪化し、それ以外の10業種は増加した。

設備投資の内容は、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が56.0%で最も高く、次いで、「情報化機器」が21.3%、「車両・運搬具」「建物（工場・店舗等を含む）」が18.7%と続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が74.3%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が27.1%、「合理化・省力化」が21.5%と続いている。

非製造業

「設備投資を実施した」と答えた企業は20.5%で、前期（19.7%）から0.8ポイント増加し、2期ぶりに増加した。また、前年同期（17.7%）から2.9ポイント増加した。

業種別でみると、12業種中、「飲食店」「情報サービス業」「サービス業」の3業種が前期から減少し、それ以外の9業種は増加した。

設備投資の内容は、「車両・運搬具」が42.3%で最も高く、次いで、「情報化機器」が26.8%、「建物（工場・店舗等を含む）」が23.9%と続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が72.6%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が24.4%、「合理化・省力化」が17.8%と続いている。

〔設備投資実施率〕

	実施した	実施しなかった	前期比	前年同期比
全 体	23.7%	76.3%	+2.1	+3.8
製 造 業	27.8%	72.2%	+3.7	+4.8
非製造業	20.5%	79.5%	+0.8	+2.9

（2）来期（令和7年7～9月期）の見通し

来期に「設備投資を実施する予定」と答えた企業は21.8%で、当期（23.7%）から1.8ポイント減少する見通しである。

〈業種別〉

製造業

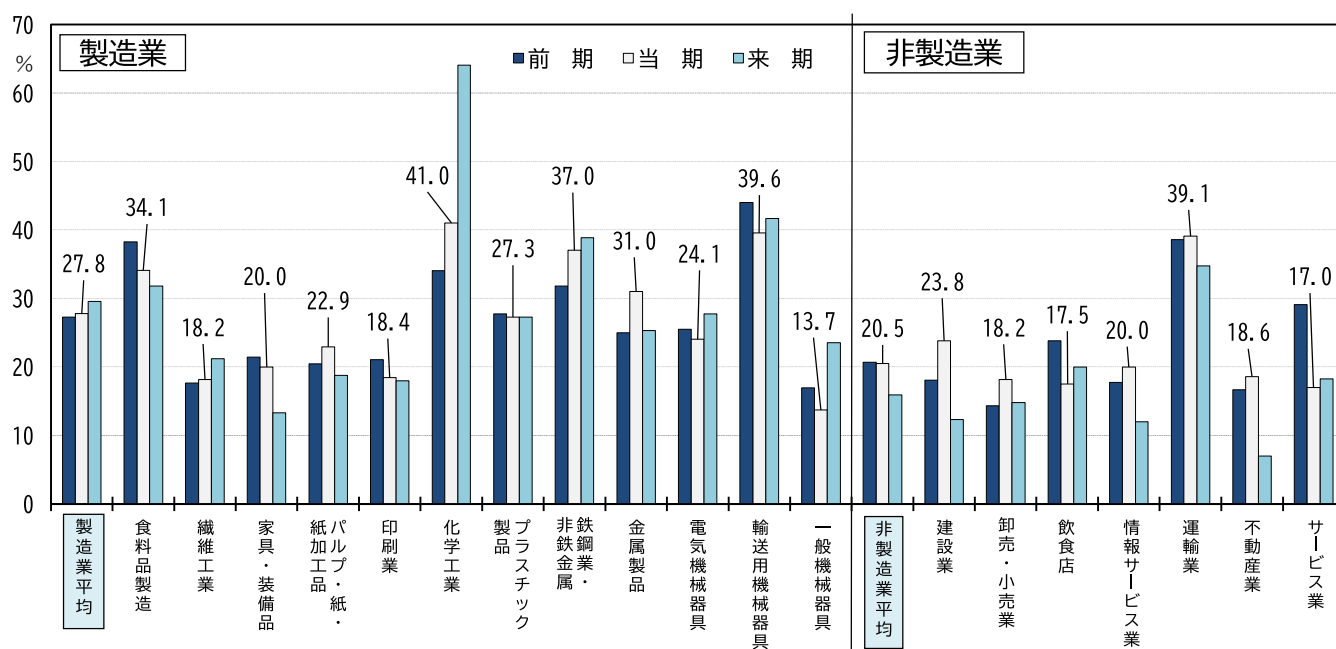
「設備投資を予定している」と答えた企業は29.5%となっており、増加する見通しである。

非製造業

「設備投資を予定している」と答えた企業は15.9%となっており、減少する見通しである。

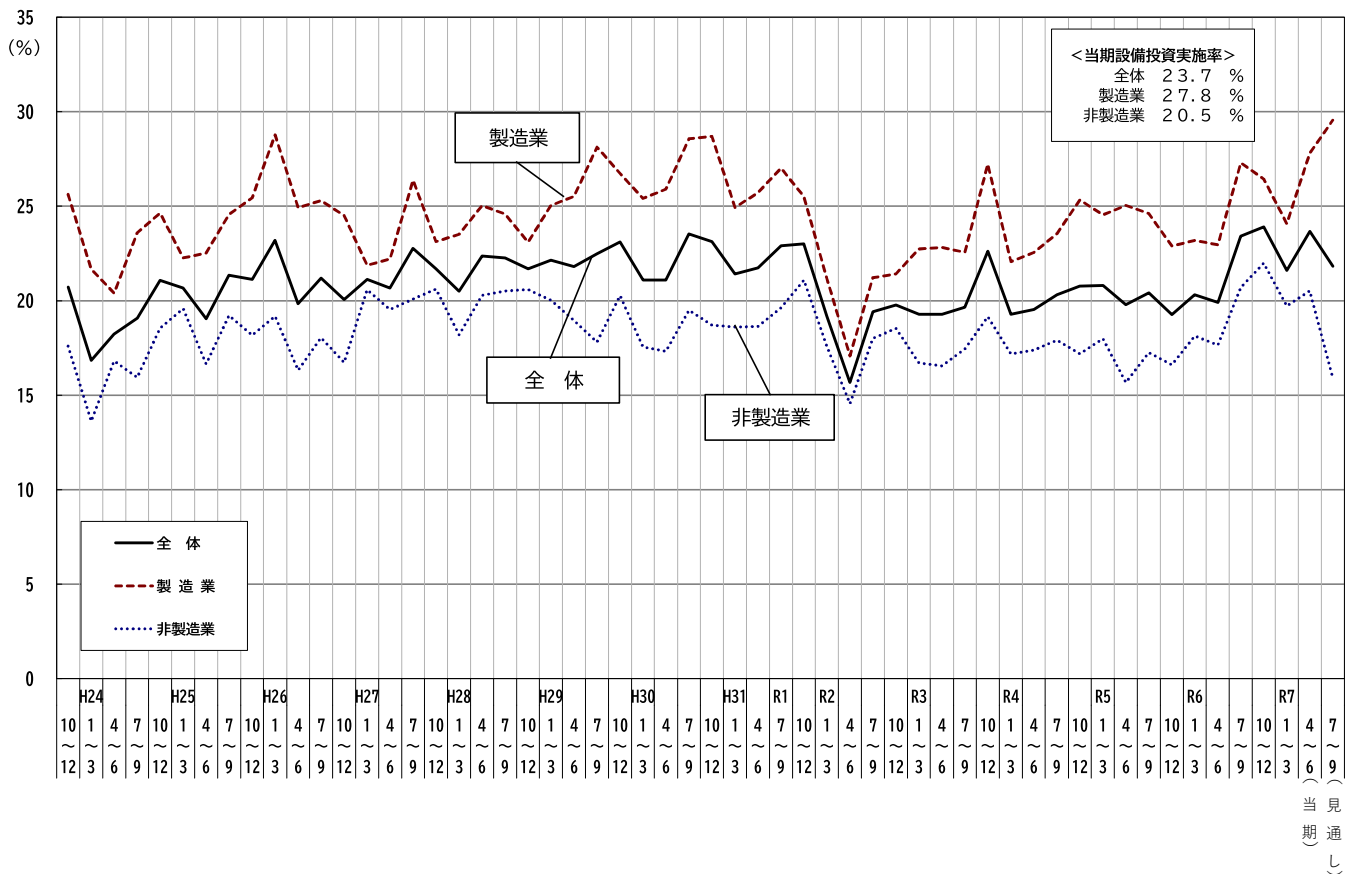
（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P 59）を御覧ください。

〔業種別・設備投資実施率〕

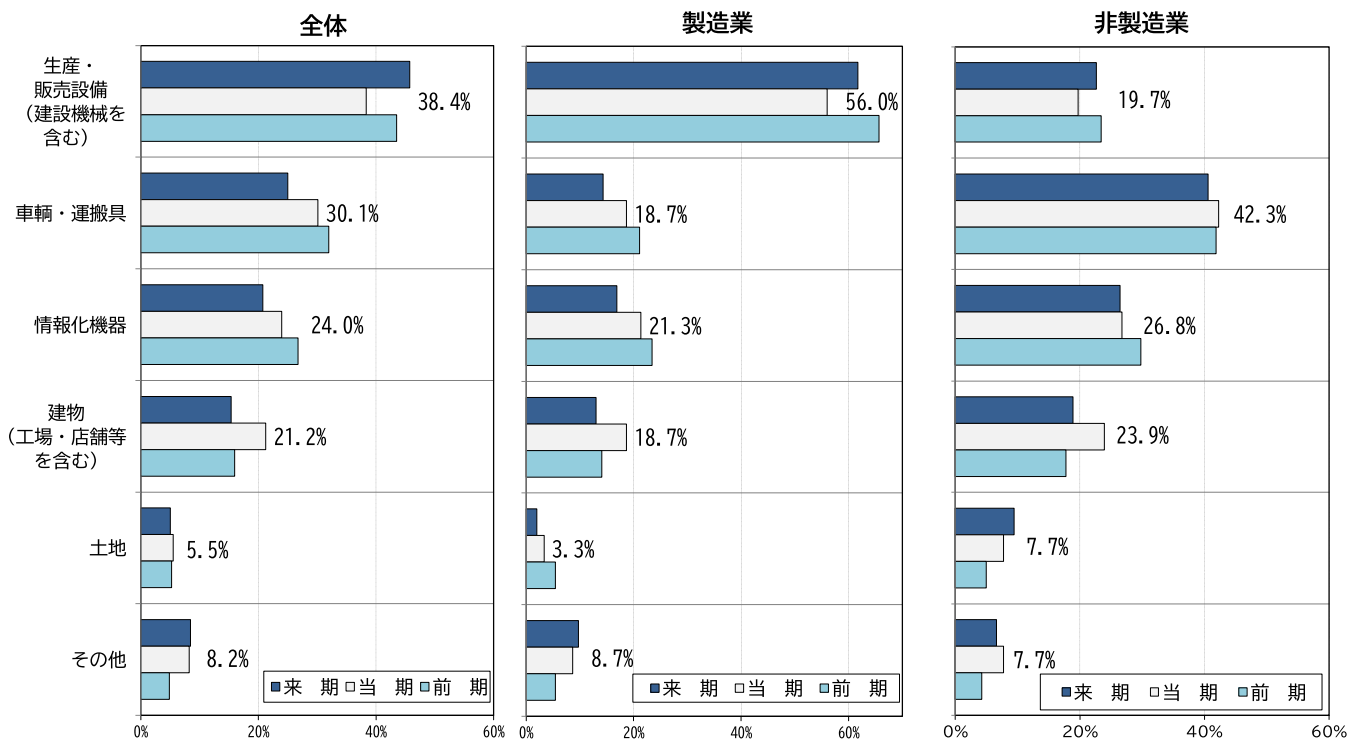


※数値は当期の実施率

〔設備投資実施率の推移〕

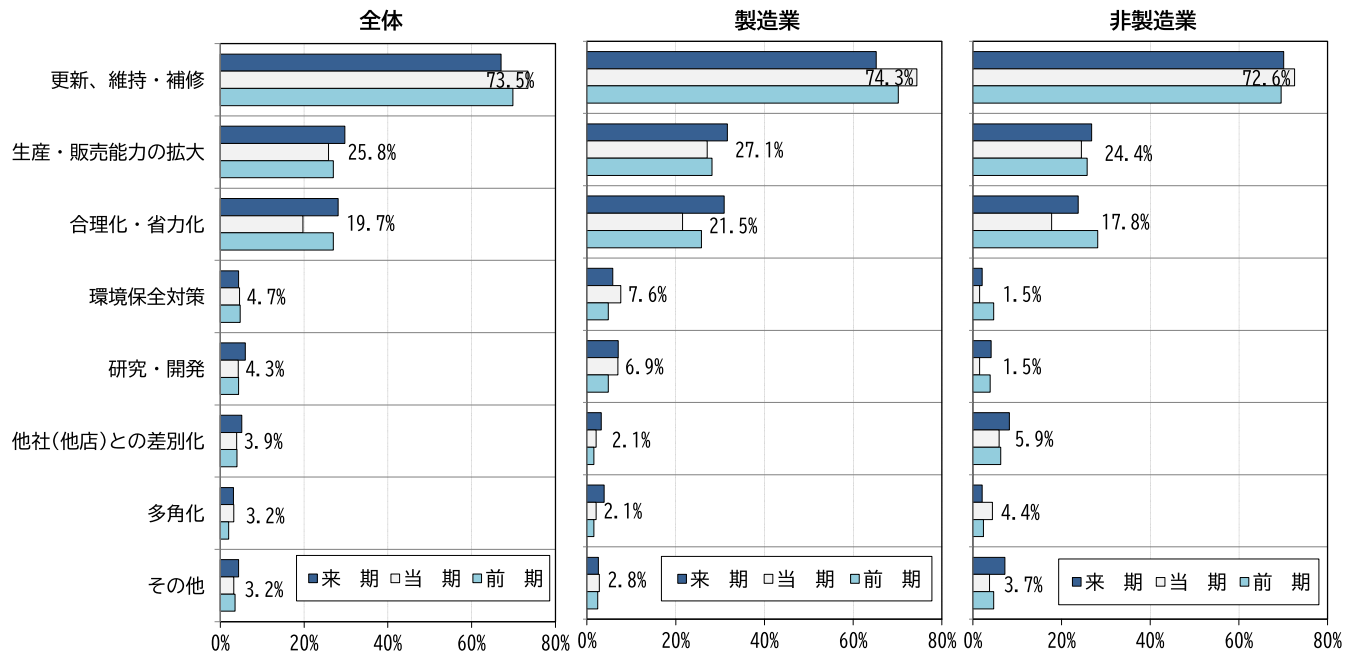


〔設備投資の内容【複数回答】〕



※数値は当期の実施率

〔設備投資の目的【複数回答】〕



※数値は当期の実施率